

おだわら市民交流センターUMECO実施事業計画（令和7年度）

No	事業名	機能	コンセプト	目指す姿	実施内容 (計画)	指標	令和6年度 実績値	令和7年度 目標値	令和7年度 実績値	達成率 (%)	実施内容 (実績)	成果	課題・対応
1	UMECO 企画展	拠点	きっかけ	市民活動団体が活動に関する様々な企画展示を行うことで、市民活動及び団体に対する市民の関心が高まり、活動を始めたたり応援したりする人が増える。	年間を通じ、多目的コーナーやホワイエを利用し、登録団体の活動に係る展示を行う。展示期間は1団体あたり原則2週間程度とする。	【コンセプト面】来場者へのアンケート「団体（活動）への関心増」	72%	70%	67%	52%	開催時期の希望が重複し、時期の調整を行ったが、予定通りに出来ている。	【コンセプト面】アンケート回収数260 (既に関心があると答えた方は含まず)	アンケート回収率増加に努める。
						【機能面】参加団体数	29団体	35団体	18団体	52%		【機能面】後期もほぼ予定通り	
2	アクティブ サロン	拠点	きっかけ	企画展では活動内容等を発表することが出来ない団体に、体験の場等提供することで、市民活動及び団体に対する市民の関心が高まり、活動を始めたたり応援したりする人が増える。	活動エリアを利用し、サロン形式やイベント形式での活動紹介等、多様な形で開催する。月1回（1日または2日間）の開催とする。	【コンセプト面】来場者へのアンケート「団体（活動）への関心増」	81%	70%	80%	114%	年度の予定がすべて埋まり、予定通り実施出来ている。	【コンセプト面】アンケート回収数260 (既に関心があると答えた方は含まず)	アンケート回収率増加に努める。
						【機能面】参加団体数	13団体	12団体	7団体	58%		【機能面】後期もほぼ予定通り	
3	団体登録	拠点	行動	市民が思いを行動に移せるよう、新たな団体登録、年度ごとの登録更新（6月末）を促進し、UMECOを団体の情報発信の場、又は活動の拠点とする。	活動実績等を把握し、的確な申請受付を実施。更新に際しては、オンラインでの受付を推奨することで手続きの軽減を図る（従来通りの受付方法も継続する）。	【コンセプト面】新規登録団体数	41 (再登録含む)	30	31	100%	年度登録未更新 30団体 廃止団体 13団体 (ほとんどが高齢化による活動停止・縮小)	【コンセプト面】新規団体は増加傾向である	更新未申請の団体にはメールや郵便による督促を重ねて実施。
						【機能面】登録団体数	385	400	376	94%		【機能面】未更新が増加	
4	相談業務	相談 支援	実現	法人化や市民活動（ボランティア含む）全般に関する相談、他団体との連携にかかる相談等を受けることで、市民活動が発展する。	相談日を設け相談員を配置するとともに、簡単な相談は随時受け付ける。情報誌等を使用し相談受付を広く案内する。スタッフのスキルの向上（研修等による）を図る。	【コンセプト面】相談解決割合	90%	100%	97%	97%	県の専門相談員による小田原での出張相談会の開催を計画。（10月10日済）	【コンセプト面】1件は人生相談であった	10月に県の相談員による出張相談会の開催を計画。
						【機能面】相談件数	74	100	46	46%		【機能面】出張相談は定員枠の6団体が来場した	
5	市民活動団体への資金面への支援	相談 支援	実現	運営のため、事業実施のための資金調達は重要課題であり、資金確保に係る支援を行うことで、市民活動を活性化させる。	市民活動・協働応援制度補助金に係る業務（応募受付・事業視察）や資金支援に係る情報提供を行う。	【コンセプト面】補助金応募件数	17件	15件	11件	73%	各対象事業の開催日程に合わせ、視察日を調整中である。来年度補助金応募に向け説明会及び講座を予定。（10月20日、11月8日開催）	【コンセプト面】応募件数が減少した	補助金の申請団体増加のための講座を計画。
						【機能面】補助金交付団体の事業見学（視察）	11件	9件	1件	11%		【機能面】後期にすべて終了予定	
6	企業とのネットワーク	協働 支援	実現	市民活動団体と企業との協働により、団体の様々な活動を紹介する。また、企業との連携による社会貢献に向けての活動を創出することで活動の場が広がる。	実績のある「フレスポ小田原シティーモール」でのパフォーマンス主体の事業を継続する。市内の企業等を中心に、地域活性化等に関する事業連携を推進する。	【コンセプト面】団体と企業の連携事例数	1件	3件	0件	0%	「フレスポ小田原シティーモール」でのフェスティバル開催は8月に1回実施、12月及び3月の開催についても実施日等調整済みで、参加団体の募集を行っている。	【コンセプト面】未対応	事業者との調整のため、フェスティバル参加団体の早期の決定、参加内容の把握。
						【機能面】フェスティバル開催数	3回	3回	1回	33%		【機能面】年度の計画に沿って進行	
7	地域とのネットワーク	協働 支援	実現	地域の各種団体と市民活動団体との連携を促進することで、地域課題を解決する。	登録団体の一覧を掲載した情報紙（Hello!UMECO）の改定版をまちづくり委員会等に案内配布し、またその際に地域のニーズを把握するための情報収集を行い、団体とのマッチングの機会を広げる事業を展開する。	【コンセプト面】事業報告中のアンケート「地域の困りごとが解決した割合」	アンケート未実施	50%	実施準備中	—	地区公民館への「Hello!UMECO」の紹介、地域団体等の要望聞き取りを準備中である。小学校での登録団体協力は順調に推移。	【コンセプト面】各地域の意見をアンケート等を通じて収集し、需要の直接把握を目指す	引き続き地域活動団体との連携強化に努める。
						【機能面】マッチング回数	10回	20回	11回	55%		【機能面】新しい点では地域の事業者の夏祭りへ団体が参加協力した	
8	パートナーシップミーティング	交流・ コーディネート	実現	イベントに参加した市民活動団体が、他の参加者との連携を通じて活動を発展させ、地域の課題解決に貢献する。	NPO、学校、企業を中心としたマッチングの機会を創出するイベント（事例発表、グループワーク等）を、神奈川県と共催で実施する。協働のさらなる促進に向けて、県西部の自治体の協力を得る。（県西部自治体を含めた県との共催は3年目で最終年度となる）	【コンセプト面】マッチング成立件数	0件	3件	—	—	10月26日（日）の開催に向け、広報・参加者募集を行っている。今年度は新たに箱根町加え県西部地区4自治体の協力を得た。当日は企業・学校・団体から発表をいただく。	【コンセプト面】市内のみならず広い地域の多様な団体との協働を見出す	参加者募集の展開。
						【機能面】参加者数	49名	40名	—	—		【機能面】市民活動団体や、県内の企業・学校・団体等へホームページ（県を含む）やチラシ・SNS等で参加を呼びかけた	
9	市民活動入門講座	学習・体験	きっかけ	市民の方々が生きがいを持ち、生き生きとした社会生活ができるよう市民活動参加へのきっかけ作りをする。また、若い世代の人たちに市民活動について学んでもらう機会を提供することで関心が高まる。	市民活動の基本的な内容や、市民活動の楽しさを知ってもらえるような講座を開催する。また、市内の大学や高校等へ積極的に働きかけ、市民活動について広く周知啓発するための講座を開催する。	【コンセプト面】受講者へのアンケート「活動を始めたい人の割合」	100% (若者向け入門講座で市民活動未経験意見の回答)	75%	意見集約中	—	国際医療福祉大学の課外授業の一部として、新入生を対象にUMECOについてや市民活動等について説明した。夏休みボランティア体験学習に先立ち、相洋高校と旭丘高校に登録団体と出向きボランティア活動についての説明を行った。	【コンセプト面】意見集約中	参加したがするような事業の立案、学習だけでなく参加型の採用等。
						【機能面】入門講座開催数	3回	3回	3回	100%		【機能面】夏ボラへの参加に繋がった	
10	夏休みボランティア体験学習	学習・体験	きっかけ	中高生を中心に、夏休みに合わせてボランティア体験の機会を提供し、社会にどのような貢献ができるかという「ボランティア精神の芽生え」のきっかけとなる。	誰でも参加できるボランティア体験機会を提供するため、体験の受け入れができる登録団体を募集し、受入団体と生徒等との橋渡しをする。多くの市民活動団体に積極的な参加を募る。また、学校側の協力を得られるよう働きかけを行う。夏休みに限らず、年間を通じボランティア参加への機会を提供する。	【コンセプト面】ボランティア活動への関心度増	100%	90%	86%	95%	受入団体は微増で会ったが、参加者は減少した。小中学校生が減少し高校生の参加が増えている。要因はいろいろな要素があると思われるが、来年度以降の学校向け事業内容の見直しを検討する。	【コンセプト面】いろいろな意味で感心は高まっていると感じる	10年経った「夏休みボランティア体験学習」の開催の再確認。
						【機能面】夏休みボランティア参加者数	214人	250人	159人	63%		【機能面】小中学生の参加増も含め、より意義のあるボランティア内容の拡充に努める	

No	事業名	機能	コンセプト	目指す姿	実施内容 (計画)	指標	令和6年度 実績値	令和7年度 目標値	令和7年度 実績値	達成率 (%)	実施内容 (実績)	成果	課題・対応
11	団体向け各種講座	学習・体験	行動	市民活動団体の活動を広く支援するための各種講座の開催により、団体が成長する。	団体の活動発展に向け、アンケートの結果等を踏まえ、ニーズに対応した講座(例:デジタル化、協働、資金等)を開催する。 ホームページリニューアルに伴う説明会を開催する。	【コンセプト面】 受講者の満足度	100%	50%	100%	200%	新しくなったホームページの使い方等について「ホームページ活用講座」を4月14日(月)に開催し、5名の方が受講した。10月20日(月)於:UMECO、11月8日(土)於:マロニエで、補助金活用講座を開催予定である。	【コンセプト面】 全くの初心者も参加されたが、受講者の満足度は概ね高かった(聞き取りによる) 【機能面】 受講者数の増加のため、テーマや内容の充実、広報方法を検討を要す	補助金活用講座の集客。
						【機能面】 1講座当たり受講者数	16名	10人	5人	50%			
12	若者の市民活動参加の支援	学習・体験	きっかけ	ボランティア活動等を通じ学生や若者のボランティア活動を支援すること、若い世代の活動への参加を促進する。	ボランティア参加の機会を増やすことで、活動団体との接点を提供し、市民活動への関心を広げ、活動参加を促す。 また、インターンシップを積極的に受け入れる。	【コンセプト面】 若者の市民活動への関心度増(各種事業におけるアンケートによる)	100%	80%	実施準備中	←	本年度のインターンシップ申し込みはなかった。 ボランティア募集サイトを活用し、若い方へのボランティア募集を行い、UMECO祭り実行委員への応募やその他の事業へのボランティア参加の応募があった。	【コンセプト面】 UMECO祭りのボランティアに応募している方にアンケートを実施 【機能面】 インターンの打診はあったが時期の調整が取れず見送りとなった	
						【機能面】 インターンシップ受入数	2名	2名	0名	0%			
13	男女共同参画の推進	学習・体験	きっかけ	市や市民活動団体等と連携して男女共同参画を推進することで、男女が、社会の対等な構成員として自らの意志によって、社会のあらゆる分野において活動に参画できる機会を確保する。	小田原市が進める「男女共同参画プラン」を参考に、市民活動団体をはじめ、市民全般への意識向上を推進するため、企画展等を開催する。	【コンセプト面】 参加者アンケート「男女共同参画への関心増」	100%	80%	実施準備中	←	5月に企画展として、人権・男女共同参画と協働で、「男女共同参画週間展」を開催した。11月の同様に「DV防止啓発展」を開催予定である。	【コンセプト面】 年度末に評価 【機能面】 経過通りの実施	人権・男女共同参画課との調整。
						【機能面】 イベント回数	3回	3回	1回	33%			
14	UMECO祭り	交流・コーディネート	きっかけ	UMECO全館を利用し、市民にUMECOや市民活動について知って頂き、市民活動参加へのきっかけとする。また、市民活動団体相互の交流を行う事で、他の活動への関心を高め協働へのきっかけとする。	登録団体有志による実行委員会での検討を経て、11月下旬に登録団体が様々な企画(活動発表・作品展示・パフォーマンス等)により活動紹介を行い、活動内容を多くの市民に知ってもらう。また、参加団体同士の交流をすすめる。	【コンセプト面】 事業の満足割合(アンケート)	100%	80%	実施準備中	←	94団体の参加申込があった。(ポスター展示のみ含む)	【コンセプト面】 【機能面】	参加団体が増えたため、会場の設営割当の工夫。
						【機能面】 来館者人数	1800人 (85) ()内は参加団体数	2000人		←			
15	団体交流会	交流・コーディネート	行動	イベントに参加した市民活動団体が、特定のテーマに沿った交流を通じ、他の参加者と思いを共有し、活動を発展させる手掛かりを得て具体的な行動につなげる。	同じ分野で活動する団体間や、分野・業種を超えた交流会を開催する。開催にあたっては、活発な交流を促すためテーマ設定を工夫するとともに、テーマに応じた層へのPRを図る。 (新春交流会の開催を含む)	【コンセプト面】 他団体とのつながりができた件数	0件	3件	実施準備中	←	団体交流会を12月14日(日)、新春交流会を1月25日(日)に開催することで、準備中である。	【コンセプト面】 若者とつながるための要素等を確認し、活動につなげる 【機能面】	交流会への参加数、広報の拡大。(チラシだけでなく各種メディアの活用)
						【機能面】 交流会開催数	2回	2回		←			
16	国際交流	交流・コーディネート	行動	市の担当部署との連携も視野に、海外の文化の発信や外国籍の方たちとの交流を推進する。	外国籍の方向士や登録団体との交流の場を開催する。 また、令和6年度に試行した「みんなの広場」の再構築を検討する。	【コンセプト面】 参加団体の満足度	調査未実施	70%	実施準備中	←	3月21日(土)に交際交流フェスタを実施することで、文化政策課と準備中である。	【コンセプト面】 昨年度は初めての共同での開催であったが、参加する団体のニーズの取得に努める 【機能面】	文化政策課との調整。
						【機能面】 イベント開催回数	1回	1回		←			
17	情報発信	情報の集約・発信	きっかけ 行動	さまざまな活動情報を集約し、情報誌発行やインターネットツールを活用して、UMECOや市民活動の情報を発信することで、一般市民等は市民活動に参加するきっかけを、市民活動団体は活動を発展させる手掛かりを得る。	①情報誌(UMECOだより/つながる)の定期発行 ②ホームページの運用 ③FMおだわらの活用 ④新たな情報発信メディアへの展開 ⑤ホームページリニューアルに伴う閲覧調査	【コンセプト面】 ホームページ・フェイスブックの閲覧調査	未実施	80% (回収数に対し)	実施準備中	←	情報紙の発行・FMおだわら出演については計画通り進めた。 閲覧調査については、後期で実施する予定である。 ホームページや情報紙への活動内容等の発信について、登録団体へ働きかけ周知を図った。	【コンセプト面】 後期で閲覧調査を行い傾向を把握し、改善に繋げる 【機能面】 計画通りである	閲覧状況の確認により、必要となる掲載内容・方法検討。 「UMECOだより」10周年特別号を発行予定。
						【機能面】 ①情報誌の発行 ③FMおだわら出演団体数	6回/年 44団体	6回/年 45団体		3回/年 25団体			
18	UMECO10周年事業	拠点	行動	本年11月に設立10年を迎えるUMECOの記念事業を実施することで、UMECOの存在意義、役割を広く認識していただく。	上記の事業の中で、10周年を記念する事業を開催する。 (例:団体交流会・UMECO祭り等の中で)	【コンセプト面】 UMECOの役割認知度(アンケートによる)	—	80% (回収数に対し)	実施準備中	←	11月30日に開催予定。 UMECO10周年特別号を発行予定。	【コンセプト面】 10周年を振り返り、これからのUMECOについて 【機能面】	皆様から頂いたメッセージを参考に、今後の事業に生かしていく。
						【機能面】 イベント開催回数(年間の事業の中で1事業と併せ実施)	—	1回		←			